

岡山医療生協

『蛇のバレンタイン集会』アピール

小泉政権は、イラクの復興支援と称して、武装した自衛隊を戦闘が続くイラクに派兵しました。復興支援は、軍隊ではなく国連主導のもとに行われるべきです。武力で平和はつくれません。

そもそも、アメリカがイラク戦争の口実にしていた大量破壊兵器はなかったということを当事者である査察団のブリックス委員長が証言しています。アメリカのイラク占領には大義も道義もありません。憲法第9条は、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」と定めています。武装した自衛隊をイラクに派兵することは明白な憲法違反です。今すぐ、撤退を求めます。

軍備優先の政治は、福祉削減の政治と裏腹です。今年4月に計画されている年金改革は、全ての国民に、大幅な保険料負担増と給付の削減押しつけるひどい内容となっています。医療改悪・年金改悪の後退を許さず、社会保障を守り、充実させる運動に全力を上げましょう。

医療の現場や地域の中で、いのちとくらしを守る運動をすすめている私たち医療生協組合員・職員は、戦争に反対です。平和と社会保障を守る運動を大きく広げていきましょう。

2004年2月14日

岡山医療生活協同組合 バレンタイン行動実行委員会